

最後の授業が始まりました。義務教育最後の授業です。

この時期を「三寒四温」といいます。三日寒い日が続いたあとに四日の暖かい日を経ながら、徐々に春になっていく様子を言いますが、君たちの中学校生活も、1、2年生のときは、「よいことやうれしいこと」と「悲しいことや反省すべきこと」を繰り返しながら成長をし、中学校生活の後半は気持ちのよい日をたくさん積み上げ、本日を迎えました。

91名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。よく頑張った3年間でした。保護者の皆さま、お子さんのご卒業おめでとうございます。また、3年間本校の教育活動に多大なるご理解とご支援を賜りましたことに対して、高段からではありますが、厚くお礼申し上げます。

ご来賓の皆さまにおかれましても、お忙しい中、ご列席を賜り、誠にありがとうございます。地域に開かれた学校、地域に根ざした学校経営の実現のために、ご支援賜っていることに対して、深く感謝申し上げます。

さて、私は君たちとは2年間の付き合いでした。その印象を一言で言います。「行事ごとに成長し、日常生活の充実と進路実現につなげた学年」です。

私の最初の驚きは、2年生のときの職場体験学習でした。仕事を通じて、社会の厳しさ、親への感謝、将来の生き方について考えました。その発表会で自分の経験や思いを堂々語る君たちの姿がとても頼もしく、その後の学校生活が変わっていったと記憶しています。

また、学級のリーダーが中心となって取り組んだ体育大会、仲間と話し合いながら作り上げた合唱コンクール。学級の中で、様々な意見が大切にされ、一人一人が主人公の学級・学年を自分たちの力で築きました。そして、下級生のこともよく考えながら生徒会行事を運営しました。

そんな君たちは、この大東中に多くの足跡を残しました。本日は3つ話します。まず、いじめバスターズ宣言を改定し、いじめのない学校を推進しました。自分たちのまわりにあるいじめや心のありようを考え、何度も何度も話し合い、多様な意見をひとつのものにまとめ上げました。約10年ぶりの改定を民主的に行い、大東中学校の歴史に大きな足跡を残しました。君たちは大東中の新たな歴史の創始者となりました。君たちが育んだ改革の精神は、きっと1、2年生が受け継いでくれることでしょう。

二つ目です。君たちの学年はとても表現力が豊かでした。去年の文化祭を振り返っても、ダンスあり、ピアノあり、英語弁論等多岐にわたり、そのレベルも高かったです。作文で表現する力、絵やデザイン、スポーツで人を魅了する力をもった人も多かったです。合唱も演劇もとても上手でした。また、生徒総会では、しっかり考え自分の意見と

して、堂々と発言する力もありました。今後も、あなたの思いを言葉や形にし、表現することで周りの人と豊かにつながっていきましょう。

三つ目です。君たちは修学旅行で福島を訪れました。今も続く震災後の厳しい状況を学び、自分自身の生き方や考え方を大きく変えるきっかけとなりました。その学びは、私も含め全校生徒が災害への備えや防災について真剣に考えるきっかけとなりました。君たちがスタートしてくれた防災への取組を大東中学校は引き継いでいきます。防災の取組を通して、生きることを、そして周りと手を携えて生きぬくことを考える大東中にしていくことを約束します。

最後に二つお願いがあります。

4月からは、自分が決めた進路で羽ばたくときです。これからの新しい生活で楽しいこともあれば苦しいこともあると思います。時には、自分が選択した進路が間違えてはなかったか、と悩むことがあるかもしれません。

選んだ進路が正しいかどうかを考えるのではなく、あなたの決断・選択を正解にする努力をしてください。人生において、決断した時点で正しい選択はありません。大事なことは決断したことを正解にするために何をするか、どうがんばるか、そのことが重要であり、その努力が大切です。

二つ目です。

君たちの生きる未来は、多様性や国際化が益々進むはずで。言語や考え方が違う人と、ともに生きていくためには、英語力以上に必要なものがあります。それは、自分自身のことを自分の言葉で語れる力です。そして、自分が生まれたところ、例えば米原市、滋賀県、日本というあなたが立っているその場所の歴史や文化、あるいは魅力や課題について、あなたの言葉で語れる人になるということです。

「自分のことば」をもってください。親に言葉をかりるのではなく、SNS に書いてあることをうのみにし、マネをするのではなく、自分の頭で考えたあなたの言葉で、言語や考え方の違う多くの人と、しっかりコミュニケーションを取って行ってください。そのための学びやスキルは、これからも地道に時間をかけてしてください。

「人は人の中で育つ」。また、「人生は人との出会いで決まる」と言っても過言ではありません。「意味のない出会いはない」という人もいます。「人は出会うべき時に出会うべき人に会う」と思えます。その縁がさらによい縁に発展していき、良い結果に恵まれることも人生の不思議さであり、人生の妙です。私は君たちと出会えたことに感謝します。

君たちが、これから活躍するステージは無限に広がります。これからも自分の強みを伸ばしに伸ばしてください。好きなことを徹底して頑張ってください。興味のあることにどんどんチャレンジしてください。そんなあなたでいてください。そのためにも、この雨があがったあとの晴れ上がった空のように高々とした心を持ち続けてください。人生はたった一度の片道切符の旅です。これから始まる自立に向けた旅で、自分自身

を精一杯輝かせてくれることを、また、新しい舞台で大東中学校での学びを土台に更に成長してくれることを、そして人生という旅の途中で幸多からんことを祈念し、式辞とします。

令和7年3月11日
米原市立大東中学校 校長 河地 誠